

「脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）検討部会」で決定（令和2年9月）

改良版ジャストスコア（JUST-7）の開始について

救急隊が脳卒中を疑う救急患者の搬送については、平成31年4月から、ジャストスコアを用いた救急患者の搬送ルール（「脳血管内治療等に係る救急患者の搬送について」）を運用してきたが、救急隊や医療機関の入力負担の軽減の観点などから、改良版ジャストスコア（JUST-7）での運用を開始する。

1 従来のジャストスコアからの改良点について

(1) 現在、ジャストスコアにおける救急隊の入力項目数は21項目であるが、分析の結果、7項目であっても、判別力を維持できることが可能であることが分かったことから、救急隊の入力項目を減らし、現場滞在時間の短縮を図るため、7項目に変更する。

- ・ 患者が搬送先の医療機関に到着するまでの間に、医療機関内での情報共有や事前準備に活用できるよう、救急隊が搬送先の医療機関を決定した際、救急隊がジャストスコアに入力したバイタル等の結果を搬送先の医療機関が設定したメールアドレスに送付できるようにする。

(2) より正確な時間と距離を予測し、患者を迅速に搬送できるよう、ジャストスコアを地図アプリと連動させ、搬送可能な医療機関までの到着時間と治療開始までの時間を合計し、時間が短いものから表示できるように変更する。

(3) 各病院が血栓回収療法の受入れ状況を登録しているが、未登録のままになっている病院もあることから、各病院の入力負担の軽減と、救急隊との適切な情報共有との観点から、以下のとおり各病院の治療開始までの時間の実績値（前年度の中央値など）を反映させる仕組みに変更する。

- ・ 24時間更新がなければ、実績値が反映される。
- ・ 不可を選択した場合には、不可のまま継続される。
- ・ 60、75、90、120分以内は、現行どおり適宜選択できるが、24時間操作がなければ実績値が反映される。

2 閾値の変更について

ジャストスコアを7項目にした場合、21項目と同等に識別するため、脳卒中の可能性を10%から40%に変更する。

3 開始日時

令和2年10月1日（木）8時30分

※ (3)は令和2年12月1日（火）8時30分